

欧州特許庁の次期副長官にファンデルアイク氏を任命

2011年11月11日
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁(EPO)は、11月9日、欧州特許機構(EPOr)の管理理事会(Administrative Council)が、DG3(審判部)の次期副長官としてヴィム・ファンデルアイク氏(Wim Van der Eijk, オランダ, 54歳)を任命した旨、プレスリリースを行った。

ファンデルアイク氏は、ペーター・マッセーリ氏の後任として、12月1日に副長官に就任し、拡大審判部、27の技術審判部、法務審判部、懲戒審判部から構成されるDG3を担当する。任期は5年間。

ファンデルアイク氏は、オランダ特許庁の最高法務責任者や特許訴訟を取り扱うハーグ地方裁判所の名誉判事等を務めた後、2005年からEPOに所属し、2009～2010年にはDG5(法務・国際部)の副長官(代行)を務めたほか、欧州特許機構(EPOr)の特許委員会や欧州特許訴訟協定を草案する作業部会の議長としても活躍した。

(参考) EPOの新幹部構成

長官：ブノワ・バティステリ(フランス)

副長官 DG1(審査部)：ギョーム・ミノエ(ベルギー)

DG2(審査支援部)：ペーター・ファーメイ(オランダ)

DG3(審判部)：ヴィム・ファン・デル・アイク(オランダ)

DG4(総務部)：ブライアン・マギンリー(アイルランド)

DG5(法務・国際部)：ライモンド・ルッツ(ドイツ)

— EPOのプレスリリースは、以下参照 —

[Wim Van der Eijk appointed Vice-President of the EPO](#)

(以上)